



2022年10月25日

各 位

会 社 名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 高田 和彦
(コード番号 5911 東証プライム)
問合せ先 財務IR室長 中岡 康次
(TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,400	6,000	6,000	4,800	116.10
今回修正予想(B)	75,900	3,900	4,200	3,400	82.31
増減額(B-A)	500	△2,100	△1,800	△1,400	—
増減率(%)	0.7	△35.0	△30.0	△29.2	—
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第2四半期)	61,838	6,157	6,215	4,925	119.37

2. 修正の理由

橋梁事業の受注は新設橋梁を中心に大変好調であり、過去最高水準で推移しております。一方、それに伴い工事損失引当金が増加傾向となりました。そのような中、施工中の工事につきましては設計変更等の上振れ要因が少ない状況が続きましたため、利益が伸び悩みました。

また、システム建築事業につきましては受注、売上とも確実に回復し、前年同期に対し増収増益となりましたものの、鋼材価格等の高騰により一定の増益幅に止まりました。

以上のことから、売上高は第2四半期累計期間においても過去最高を更新する一方で、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては第1四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)の遅れを取り戻すに至らず、当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想につきましては現在精査中であり、2022年10月31日に予定しております2023年3月期第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上